

2023年3月期 第3四半期

決算説明資料

2023年2月10日

エンシュウ株式会社

(東証プライム 6218)



INDEX

1. 連結業績サマリー
2. 工作機械事業
3. 部品加工事業
4. 配当予想
5. 受注状況
6. 中計達成に向けて
7. 参考情報

将来見通しに関する注意事項及び免責事項

本資料に掲載されている情報には、業績予想・事業計画等の将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含むものです。当社としてその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれら将来の見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

また、本資料は当社についての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。

1. 連結業績サマリー：決算説明 要旨

決算要旨

工作機械事業の売上減少により、業績予想下方修正

- 工作機械事業 ・ 展示会引合多いが、未だ受注に至らず
 ・ エンジン系の改造・オーバーホール受注売上を目指したが投資減退
 ・ パーツの受注・売上は伸びているが、計画は下回る
- 部品加工事業 ・ EV用部品の生産量の回復が遅れ収益悪化

(単位:百万円)	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	2021年度 通期実績	2022年度 通期修正予想 2/10公表	2022年度 通期業績予想 11/14公表
売上高	15,896	16,878	23,904	25,000	29,000
工作機械事業	7,388	8,183	12,411	13,400	17,000
部品加工事業	8,455	8,641	11,421	11,530	11,900
営業利益 (営業利益率)	381 (2.4%)	△555 (△3.3%)	751 (3.1%)	200 (0.8%)	750 (2.6%)
工作機械事業	△134 (△1.8%)	△830 (△10.1%)	142 (1.2%)	△230 (△1.7%)	240 (1.4%)
部品加工事業	478 (5.7%)	237 (2.7%)	557 (4.9%)	380 (3.3%)	460 (3.9%)
経常利益	303	△737	638	0	600
当期純利益	119	△724	370	△95	500
為替レート (USD/JPY)	110.5	134.7	111.6	※ 133.8	※ 135.0
(EUR/JPY)	130.7	139.2	130.5	※ 139.6	※ 137.0

1. 連結業績サマリー：決算説明要旨・四半期推移

第4四半期大幅改善も通期黒字に若干届かず

第3四半期実績(第2四半期比較)

- ✓ 売上高、営業利益は第2四半期と同水準
- ✓ 工作機械事業は、システム案件が増加し、第2四半期比売上微増、営業利益減少
- ✓ 部品加工事業は、RV等の減産により減収も、二輪、四輪関係の生産増加により増益
(RV:レクリエーショナルビークル)
- ✓ 為替差損により経常利益減少も、年金制度変更に伴う特別利益計上し当期純利益は改善

第4四半期見込み

- ✓ 売上高、営業利益ともに大幅な増加を予想
- ✓ 工作機械事業は、高採算のシステム案件の売上増加により大幅な増収増益、営業利益黒字化
- ✓ 部品加工事業は、四輪関係の生産が回復し、利益改善

(単位:百万円)	2022年度				
	第1四半期実績	第2四半期実績	第3四半期実績	第4四半期見込み	通期見込み
売上高	4,842	6,076	5,960	8,122	25,000
工作機械事業	1,939	3,097	3,147	5,216	13,400
部品加工事業	2,885	2,961	2,795	2,888	11,530
営業利益 (営業利益率)	△144 (△3.0%)	△205 (△3.4%)	△205 (△3.4%)	755 (9.3%)	200 (0.8%)
工作機械事業	△258 (△13.4%)	△269 (△8.7%)	△302 (△9.6%)	600 (11.5%)	△230 (△1.7%)
部品加工事業	101 (3.5%)	51 (1.7%)	85 (3.0%)	142 (4.9%)	380 (3.3%)
経常利益	△90	△248	△398	737	0
当期純利益	△181	△299	△244	630	△95

2. 工作機械事業：地域別連結売上高

第3四半期累計実績

・国内販売が大幅拡大、アジアで減少

- ・国内:システム、汎用機ともに売上が拡大
- ・北米:微増、欧州は高位横ばい
- ・アジア:前年システム案件の影響により減少

(単位:百万円)	2021年度 3Q累計実績	2021年度 4Q実績	2021年度 通期実績
国内売上	2,138	1,137	3,275
海外売上	5,250	3,886	9,132
アジア	2,986	2,271	5,256
北米	1,255	1,009	2,265
欧州	1,005	606	1,611
売上高	7,388	5,023	12,411

第4四半期見込(第3四半期累計比較)

・4Qは北米、アジア、国内 販売好調

- ・北米:システム、汎用機販売が増加
- ・アジア:システム販売が増加
- ・国内:システム、汎用機販売が増加

※通期では前期を上回る売上高134億円を見込む

2022年度 3Q累計実績	2022年度 4Q見込	2022年度 通期修正予想 2/10公表	2022年度 通期業績予想 11/14公表
3,750	2,315	6,065	8,176
4,433	2,902	7,335	8,824
1,973	1,786	3,759	4,698
1,380	851	2,231	2,651
1,079	264	1,343	1,475
8,183	5,216	13,400	17,000

3. 部品加工事業：連結売上高・営業利益

第3四半期実績(第2四半期比較)

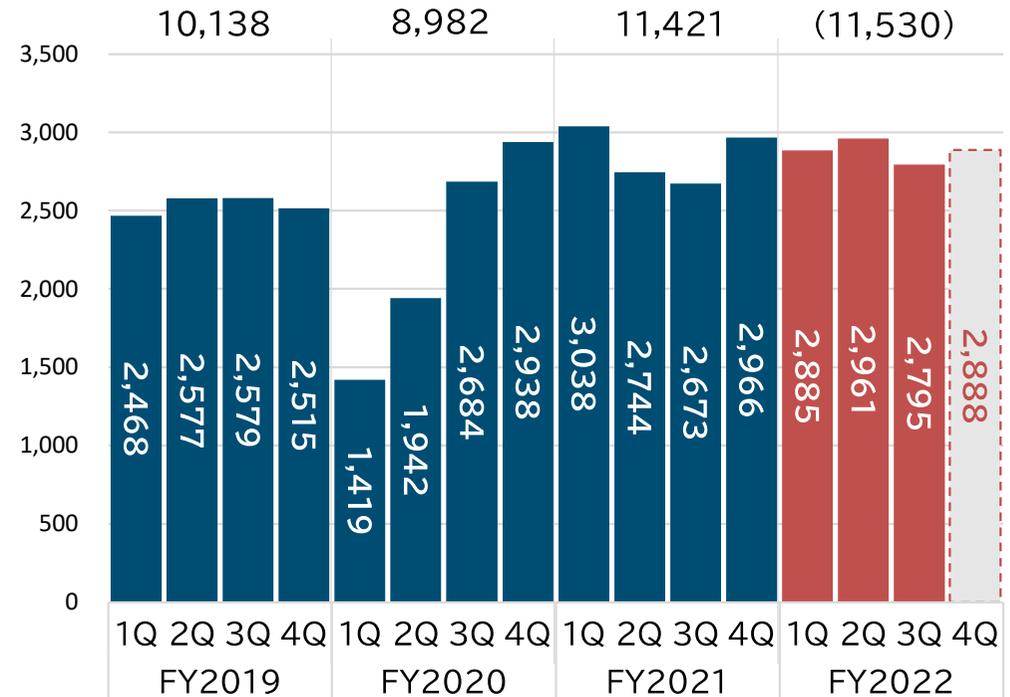
売上減少も利益率改善により増益

- ・RV関連等の売上が落ち込むも、二輪、四輪関連の売上が増加し収益に寄与
- ・電力料・物流費等の原価高騰も、一部価格転嫁およびコスト管理徹底により利益率改善

第4四半期見込み

売上増加・利益拡大

- ・二輪関係は好調、四輪関係も生産量は回復基調
- ・電力料等の価格転嫁が進み収益改善
- ・コスト管理を徹底し、利益の極大化に努める



(単位:百万円)	第1四半期実績	第2四半期実績	第3四半期実績	第4四半期見込	2022年度 通期修正予想 2/10公表	2022年度 通期業績予想 11/14公表	2021年度 通期実績
売上高	2,885	2,961	2,795	2,888	11,530	11,900	11,421
営業利益	101	51	85	142	380	460	557
営業利益率	3.5%	1.7%	3.0%	4.9%	3.3%	3.9%	4.9%

4. 配当予想（修正）

●普通株式に係る年間配当

2023年3月期末配当予想につきましては、通期業績予想は赤字となっておりますが、株主還元等を総合的に勘案し2022年11月14日公表の1株あたり18円から
1株あたり13円(前期同額)とさせていただきます。

基準日	普通株式1株当たり配当金			
	2021年3月期末	2022年3月期末	2023年3月期末 2/10 修正予想	2023年3月期末 11/14 当初予想
普通配当	円銭 5.00	円銭 13.00	円銭 13.00	円銭 18.00
配当性向	12.6%	22.1%	—	22.7%
配当利回り	0.51%	1.81%	※ 1.96%	※ 2.38%
DOE (自己資本配当率)	0.3%	0.8%	※ 0.8%	※ 1.1%

5. 受注状況：工作機械事業 連結受注高推移

国内は受注微増も、総額では前期比減少

- ・メイン市場である自動車業界の投資環境はエンジンからEVへの端境期のため、現状はエンジン関連の投資が落ち込み、EV投資の本格化はこれからであり受注獲得に苦戦
- ・商社を経由した拡販活動の成果もあり国内汎用機受注が大幅伸張、システム案件の落ち込みをカバー
- ・国内外展示会への積極的な出展および商社を通じた営業活動により、受注拡大を目指す

(単位:百万円)	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	増減率	【参考】日工会受注推移		
				(単位:百万円)	2022年 3Q累計	増減率
受注高総額	10,790	8,881	△17.7%	受注高総額	1,311,422	+7.6%
国内受注高	3,514	3,612	+2.8%	国内受注高	449,964	+9.0%
海外受注高	7,276	5,269	△27.6%	海外受注高	861,458	+6.8%
				自動車(国内)	104,287	+18.8%

※集計期間:現地法人・本社ともに4月~12月

5. 受注状況：工作機械事業 連結受注高推移（参考）

(単位:百万円)	2021年度 3Q累計	2022年度 3Q累計	2022年度 通期見通
受注高総額	10,562	8,606	13,000
国内受注高	3,510	3,612	5,700
海外受注高	7,052	4,994	7,300
受注残高	7,808	7,644	(7,300)

※集計期間:現地法人 1月~9月、本社 4月~12月

6. 中計(チャレンジ500)達成に向けて

5カ年の中期経営計画(チャレンジ500)につきましては、残る3カ年以下の課題に取り組みながら、達成を図っていく所存です。

工作機械事業 ◆事業構造の变革

- ✓ SIer子会社(エンシュウコネクティッド)とサービス事業の強化(大幅増員)
- ✓ システム 事業のテコ入れ
 - ・ EV市場の深掘り
 - ・ 新規市場の開拓(⇒ 医療業界向け専用機械 受注内定)
 - ・ エンジン市場は、既存機械の改造を中心に取り組み
- ✓ 汎用機事業の強化 ・ 引き続き商社との関係強化により受注拡大
- ✓ 北米、アセアン地域の営業強化
- ✓ OEM事業への取り組み

部品加工事業 ◆利益率改善(仕事量は順調に拡大)

- ✓ 生産負荷変動対応によるコスト削減
- ✓ 理論値生産活動や自動化等による労務費率の改善

7. 参考情報：会社概要（2022年12月末）

商 号	エンシュウ株式会社
証券コード	東証プライム 6218
設 立	1920年2月5日
本社所在地	〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888番地
代 表 者	代表取締役社長 山下 晴央
資 本 金	46億4,085万円
連結子会社数	8社（海外8社）
従 業 員 数	1,021名（連結） ※2022年12月末
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●工作機械及び部品の製造並びに販売 ●二輪車用エンジン・バギー車・雪上車・ゴルフカー マリン及び四輪車の部品加工
決 算 期	3月末
単 元 株 式 数	100株

繋ぐ技術を、世界へ

「我々の技術で、
機械が繋がる、
お客様と繋がる、
社員が繋がる、そして未来が繋がる」